

「解き方」は各問題で必ず複数ありますので、それぞれの解き方を確認しておきます。自分の考えた解き方に、もっとも近いものから確認していくとよいでしょう。

問 002 の解き方と答え

解き方 ①

A, B, Cにいろんないろいろな数をあてはめてはめていては大変だね。まずAとCにあてはめる数を変えていって、A, B, Cの差を考えよう。

- ① まず、AとBとCの差が0になるように、A, B, Cの和の30を3等分した10をあてはめる。

A	10	...
B	10	...
C	10	...

- ② Aがいちばん大きいので、いちばん小さいCからAに1だけ数をうつす。

A	10	11	...
B	10	10	...
C	10	9	...

CからAに1だけ数をうつす

- ③ 同じように続けて表をかいてみると、AとB, BとCの差は1ずつ大きくなる。

A	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
B	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
C	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

- ④ A = 14, B = 10, C = 6のとき、AとB, BとCの差はそれぞれ、4、BとCの差が3になるように、BからAに1だけ数をうつすと、A = 15, B = 9, C = 6 **これが答え**

A	14	15
B	10	9
C	6	6

BからAに1だけ数をうつす

AとBの差は6, BとCの差は3

AとBの差は6, BとCの差は3になる。問題の条件に合うので、これが正解となる。

答 A... 15, B... 9, C... 6

解き方 ②

線分図をかいて考えよう。

- ① A, B, Cの大きさを表す線をひく。  
問題の条件より、Aの線をいちばん長く、Bの線を2番目に長くする。



- ② A, B, Cの和が30, AとBの差が6, BとCの差が3ということを書いた線分図に表してみる。



- ③ Cの3つ分の大きさを考えてみる。A, B, Cの和は30より(6+3+3)×3=30より

$$30 - (6 + 3 + 3) = 18$$



- ④ したがって、  
Cは、 $18 \div 3 = 6$   
Bは、 $6 + 3 = 9$   
Aは、 $9 + 6 = 15$

- ⑤ 答えを確かめてみる。  
AとBとCの和は、 $15 + 9 + 6 = 30$   
AとBの差は、 $15 - 9 = 6$   
BとCの差は、 $9 - 6 = 3$

「解ききる思考力」を身につけるための複数の解法の提示

解法を覚えるだけでは、中学入試の複雑な問題は解けません。

解法を覚えるのではなく、

どのような考え方で答えを導いたのかを理解し、身につける必要があります。

問題の解法は1つではありません。

試行錯誤を繰り返して答えを導く方法もあれば、図をかくと簡単に答えが求められることもあります。

そのため、「解き方と答え」では、解法を複数提示しています。

答 A... 15, B... 9, C... 6



「前回までのポイント」には、このテキストで、前回の問題までに獲得した累積ポイントを記入します。「今回のポイント」は、この問題で獲得したポイントになります。問題を解いたときの自信度でポイントは異なります。「合計ポイント」は、「前回までのポイント」と「今回のポイント」をたしたものになります。

解き方 1

A, B, Cにいったんいろいろな数をあてはめていては大変だね。まずAとCにあてはめる数を変えていって、A, B, Cの差を考えよう。

- ① まず、AとBとCの差が0になるように、A, B, Cの和の30を3等分した10をあてはめる。

A	10	...
B	10	...
C	10	...

- ② Aがいちばん大きいので、いちばん小さいCからAに1だけ数をうつす。

A	10	11	...
B	10	10	...
C	10	9	...

CからAに1だけ数をうつす

- ③ 同じように続けて表をかいてみると、AとB, BとCの差は1ずつ大きくなる。

A	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
B	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
C	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

- ④ A = 14, B = 10, C = 6のとき、AとB, BとCの差はそれぞれ、4。

BとCの差が3になるように、BからAに1うつすと、A = 15, B = 9, C = 6

これが答え

A	14	15
B	10	9
C	6	6

BからAに1だけ数をうつす

AとBの差は6, BとCの差は3になる。  
問題の条件に合うので、これが正解となる。

AとBの差は6, BとCの差は3

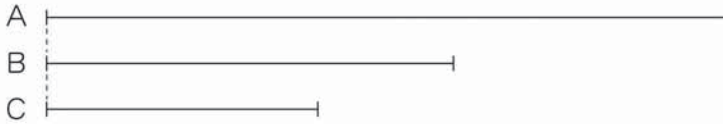
答 A... 15 , B... 9 , C... 6

## 解き方 2

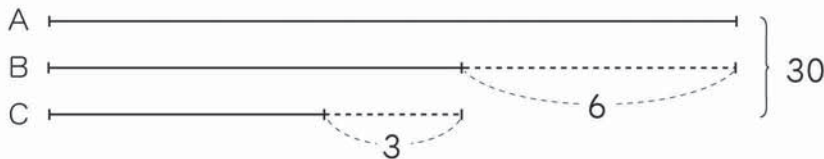
線分図をかいて考えよう。

- ① A, B, Cの大きさを表す線をひく。

問題の条件より, Aの線をいちばん長く, Bの線を2番目に長くする。



- ② A, B, Cの和が30, AとBの差が6, BとCの差が3ということを線分図に表してみる。



- ③ Cの3つ分の大きさを考えてみる。A, B, Cの和である30より(6+3+3)小さくなるので,

$$30 - (6 + 3 + 3) = 18$$



- ④ したがって,

Cは,  $18 \div 3 = 6$

Bは,  $6 + 3 = 9$

Aは,  $9 + 6 = 15$

**これが答え**

- ⑤ 答えを<sup>たし</sup>確かめてみる。

AとBとCの和は,  $15 + 9 + 6 = 30$

AとBの差は,  $15 - 9 = 6$

BとCの差は,  $9 - 6 = 3$

答 A… 15 , B… 9 , C… 6

前回までの  
ポイント

ポイント

今回の  
ポイント

ポイント

合計  
ポイント

ポイント